

呉で輝く 若者たち

vol.122

おくだ
奥田

まこ
菜子 さん



スマホやタブレット端末でQRコードを読み取ると動画を視聴できます。



プロフィール

27歳。音戸地区出身。キッチンカー「PIN'S」を経営。そのほか、レモンの卸業やアパレル事業なども手がけており、多角的に呉のまちを盛り上げている。昨年は、市主催のセミナーで講師も務めた。実家が宮む海運業も手伝っており、人事などの業務を担当。



▲「PIN'S」のInstagram

「たくさんの人に喜んでほしい。その手段の一つが移動販売なんです」
そう語るのは、鮮やかなキッチンカーで呉のまちを巡り、欧風カレーなどのこだわりのカレーを提供する奥田菜子さんです。

キッチンカーの事業をスタートしたのは約2年前。それまでは東京でアパレルメーカーに勤務し、法人営業を担当していましたが、「大好きな地元・呉のまちを飲食で盛り上げたい」という思いから、呉にUターン。以前から興味のあった食の分野で挑戦を始めた。

「いろいろな地域に出向きたい」と考えた奥田さんは、臨機応変に動けるキッチンカーを選び、飛び込みで企業などを回って出店先を開拓。

「キッチンカーは出店先があつてこそ。地道に調整を重ねてきました」と当時を振り返ります。

今では、たくさんのお客さんへ、常連客も増えてきました。

「これで午後からも頑張れるよ」と声をかけてもらった時は、すごくうれしかったです」と奥田さんはにっこり。そんなお客さんの声を聞きながら、その好みに合わせた新メニューを開発するなど、より喜んでもらえる工夫も続けてきました。



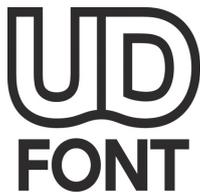
▲水色が映えるPIN'Sのキッチンカー

また、地域を回るうちに、農家の声も耳にするようになりました。

「呉はレモンの産地。倉橋や蒲刈の農家さんから、もっとレモンの販路を広げて、この美味しさを伝えたい」という声があつたんです」と奥田さん。その声に応えようと、今年から飲食店などに向けたレモンの卸業にもチャレンジ。

「人と人をつなぐのも大切な役割だ」と思ったんです」と奥田さんは話してくれました。今までキッチンカーで地域を巡った経験が、新たな挑戦へとつながっています。

キッチンカーで出会いを広げていく奥田さん。その周りには、自然とたくさん笑顔が生まれていました。これからも、その明るい人柄と持ち前のチャレンジ精神で、呉のまちにキッチンカーを走らせます。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

■再生紙を使用しています
■QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 文字サイズを調整できる
- 動画や写真も楽しめる
- 10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）

無料 FREE APP



【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタボケノ）のインストールが必要です。